

News Letter 2026年5月号

# 「IT導入補助金」から進化！ AIツール導入に使える 『デジタル化・AI導入補助金』を活用しよう



経営革新等支援機関推進協議会

# CONTENTS

- 1 デジタル化・AI導入補助金概要
- 2 加点項目
- 3 活用イメージ
- 4 申請フロー

# ① デジタル化・AI導入補助金概要

生産性の向上や労働環境の改善のために、デジタル化・DX推進のためのAIを含むITツール(業務管理システム・会計ソフトなど)の導入および活用を支援します。

## 主な変更点

### 1. 制度および一部の申請枠の名称変更

- 「IT導入補助金」から「デジタル化・AI導入補助金」へ変更
- 複数事業者で連携して取り組むための申請枠の名称が「複数社連携IT導入枠」から「複数者連携デジタル化・AI導入枠」へ変更。

### 2. 申請手続きにおける「省力化ナビ」診断の導入(任意)

省力化ナビをご活用 of 事業者様へ「省力化ナビ」を活用し加点を希望する場合、交付申請締切時点で「省力化ナビ」の診断を実施していることで、審査における加点対象となります。

「通常枠」「インボイス枠(インボイス対応類型・電子取引類型)」「セキュリティ対策推進枠」といった基本的な申請枠の構成は、2025年から2026年へとそのまま継続

# ① デジタル化・AI導入補助金概要

## 申請対象(中小企業・小規模事業者等)

中小企業・小規模事業者等が対象で、業種ごとに「資本金」または「従業員規模」の基準が定められています(個人事業も含む)。

例:製造業は資本金3億円/従業員300人、卸売業は1億円/100人、小売業は5,000万円/50人など。

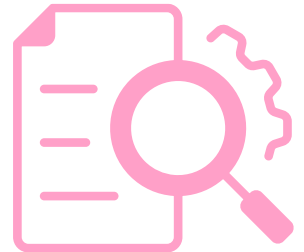
## 申請前に必須の手続き

GビズIDプライムの取得……………発行目安:おおむね2週間

SECURITY ACTIONの宣言… ★一つ星または★★二つ星 / ID発行目安:おおむね2~3日

## ツール・申請の基本ルール

- 補助対象は、事務局審査を経て登録・公開されたITツール。
- (複数者連携枠を除き)申請はIT導入支援事業者と連携して進めます。



# ① デジタル化・AI導入補助金概要

枠/類型	通常枠	インボイス枠		セキュリティ対策推進枠
		インボイス対応類型	電子取引類型	
活用イメージ	自社の業務に合ったITツールを導入したい方向け。	インボイス対応の会計・受発注・決済ソフトを導入したい方向け。	取引先にも受発注ソフトのアカウントを無償提供する方向け。	サイバー攻撃などのリスク対策をしたい方向け。
補助額	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITツールのプロセス数が1～3つまで: 5万円～150万円</li> <li>4つ以上:150万円～450万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITツール 1機能:～50万円 2機能以上:～350万円</li> <li>PC・タブレット等: ～10万円</li> <li>レジ・券売機等: ～20万円</li> </ul>	～350万円	5万円～150万円 ※対象は「お助け隊サービスリスト」に掲載された登録サービスに限る
補助率	中小企業:1/2 最低賃金近隣の事業者(※):2/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>～50万円以下:3/4 (小規模事業者:4/5)</li> <li>50万円～350万円:2/3</li> <li>ハードウェア購入費:1/2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大企業:1/2</li> <li>中小企業:2/3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業:1/2</li> <li>小規模事業者:2/3</li> </ul>

※令和6年10月から令和7年9月の間で、「当該期間における地域別最低賃金以上～令和7年度改定の地域別最低賃金未満」で雇用している従業員が全従業員の30%以上である月が3か月以上あることを示した事業者。

※上記のほか、複数の事業者が連携してITツールを導入する場合に活用できる「複数者連携デジタル化・AI導入枠」もあります。詳細は公式サイトをご確認ください。

## ② 加点項目

加点は枠によって対象が異なりますが、公式サイトで示されている主な例は次のとおりです。

- クラウド製品／インボイス対応製品の選定(通常枠)
- 賃上げの事業計画(3年)の策定・従業員への表明・計画達成
- SECURITY ACTIONの「★★ 二つ星」の宣言の実施(セキュリティ対策推進枠)
- IT戦略ナビwithの事前実施(結果画面添付)
- 健康経営優良法人2026／くるみん・えるぼし等の認定取得
- 成長加速マッチングサービスへの会員登録・課題登録
- 省力化ナビの活用

など

## ② 加点項目

**PICK UP** 成長加速マッチングサービスへの  
会員登録・課題登録

### 成長加速マッチングサービスとは

中小企業庁が運営する、成長を目指す企業(事業者)と金融機関等の支援機関をつなぐマッチングサービスです。



**STEP1**  
GビズIDでログイン・または新規申請

サービス利用には、GビズIDが必要です。

**STEP2**  
プロフィールや挑戦しようとしている課題の登録

交付申請締切日時点において、中小企業庁「成長加速マッチングサービス」で会員登録を行い、挑戦課題を登録していること。

※登録されている課題のステータスが「掲載中」となっている課題を確認できた場合のみ加点を行う。

**PICK UP** 省力化ナビの活用

### 省力化ナビとは

中小企業向けに、省力化・生産性向上のヒントとなる業種ごとの具体的な取組事例をイラストで分かりやすく解説し、提供する支援サイトです。



交付申請締切日時点において、「省力化ナビ」の活用ステップ1～4を実施し、解決策のPDFダウンロードを行うこと。(GビズIDの入力が必要)

### ③ AI活用イメージ

#### 経理

クラウド会計ソフト導入で  
仕訳入力をAIで自動化

##### 課題

- 仕訳や請求管理などの事務負担が大きい
- 勤怠管理と給与計算が独立しており、給与振込までのスケジュールがタイト

導入

##### 効果

- 勤怠・給与計算・振込までを一連の流れで処理可能
- AIによる勘定科目の自動判定による経理作業の標準化

#### 営業

営業支援システム導入で  
見積作成をAIで自動化

##### 課題

- 少数精鋭のため、各工数の効率化が課題
- 特に見積書作成までに一定期間が必要

導入

##### 効果

- 作業効率化
- 提案スピードの上昇
- 顧客満足度の向上
- 現場とのイメージ共有に寄与

#### 店舗

セルフレジ導入で会計・接客の  
“ムダ”をまとめて削減

##### 課題

- 慢性的な人手不足とお客様の待機時間の増加、混雑時の商品の品質が不安定
- 従業員による会計ミス

導入

##### 効果

- お客様の待機時間が減少、品質向上・安定
- 会計ミスが9割削除
- おすすめ商品自動表示機能による顧客単価アップ

## ④ 申請フロー



# 最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会